

平成30年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：災害時の備蓄について

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課

1 調査の目的

災害時は、断水、停電、ガス停止などライフラインへの影響に加え、流通機能の麻痺に伴い食糧などの生活物資の入手が困難になる事態が想定される。

そのため福岡県では、日常の食糧を多めに購入し、消費の都度買い足すことにより常に一定量の食材を保有する方法も含め、飲料水、食糧などの生活物資の3日以上以上の備蓄に努めるよう呼びかけをふくおか県政出前講座等で行っている。

現在の県民の備蓄意識、各家庭における食料などの備蓄の状況を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査時期

平成30年7月24日～8月2日（第1回）

3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	374 (100%)	90 (24.1%)	190 (50.8%)	54 (14.4%)	40 (10.7%)
性別	女性	216 (57.8%)	52	109	30	25
	男性	158 (42.2%)	38	81	24	15
年代別	20代以下	57 (15.2%)	15	30	4	8
	30代	95 (25.4%)	16	49	18	12
	40代	83 (22.2%)	18	45	12	8
	50代	63 (16.8%)	19	30	9	5
	60代	49 (13.1%)	15	24	6	4
	70代以上	27 (7.2%)	7	12	5	3

4 回答結果

問1

あなたは、飲料水を何日分備蓄(買い置き)していますか。
(1つだけ)

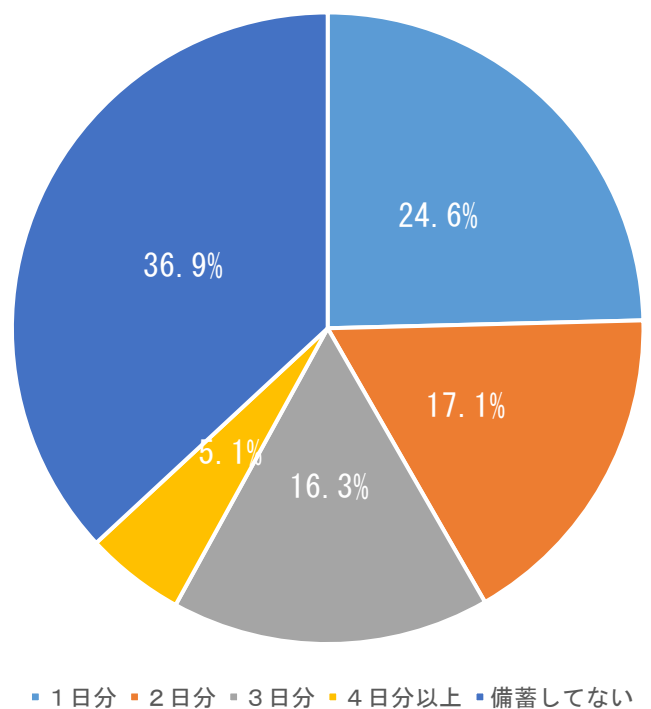
- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上(何日分か具体的に)
- 5 飲料水は備蓄(買い置き)していない

回答

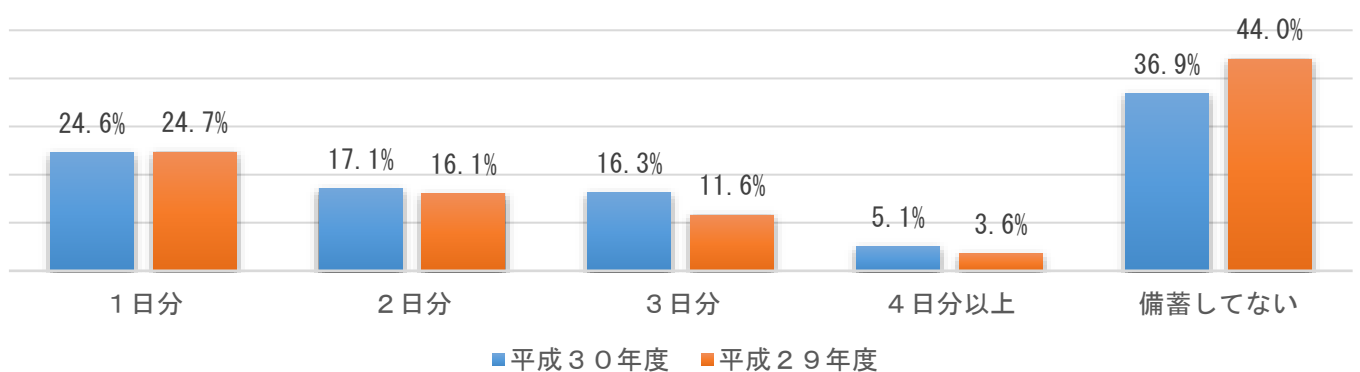
全体(n=374)

	平成30年度 合計	【参考】 平成29年度	対前年度 増減
回答者数	374	336	38
件数計 (%計)	100.0%	100.0%	0
1日分	92 24.6%	83 24.7%	9 -0.1%
2日分	64 17.1%	54 16.1%	10 1%
3日分	61 16.3%	39 11.6%	22 4.7%
4日分 以上	19 5.1%	12 3.6%	7 1.5%
備蓄なし	138 36.9%	148 44.0%	-10 -7.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

平成30年度合計
(飲料水備蓄状況)



対前年度比較



問1-2

4日以上は、何日分か具体的に。

回答 (抜粋)

・ 4日分 4人 ・ 7日分 4人 ・ 14日分 1人 ・ 1月分 3人

問2

あなたは、食糧を何日分備蓄（買い置き）していますか。
(1つだけ)

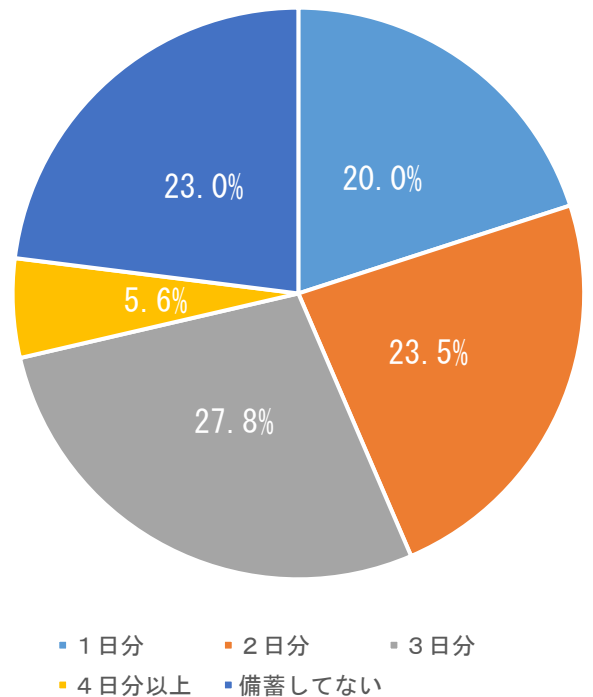
- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（具体的に何日分）
- 5 食糧は備蓄（買い置き）していない

回答

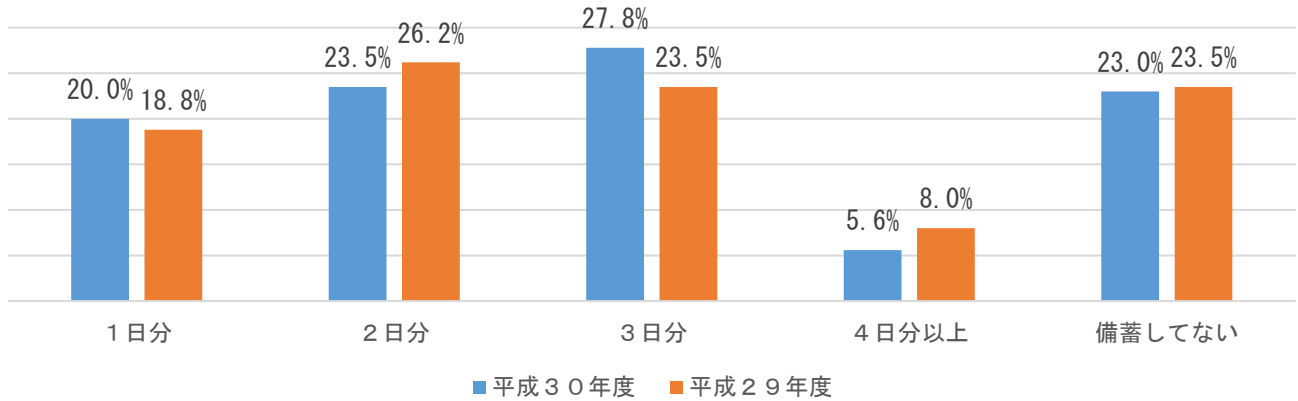
全体(n=374)

	平成30年度 合計	【参考】 平成29年度	対前年度 増減
回答者数	374	336	38
件数計	374	336	38
(%計)	100.0%	100.0%	0
1日分	75 20.0%	63 18.8%	12 1.2%
2日分	88 23.5%	88 26.2%	0 -2.7%
3日分	104 27.8%	79 23.5%	25 4.3%
4日分以上	21 5.6%	27 8.0%	-6 -2.4%
備蓄なし	86 23.0%	79 23.5%	7 -0.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

平成30年度合計
(食糧備蓄状況)



対前年度比較



問2-2

4日以上は、何日分か具体的に。

回答 (抜粋)

・4日分 3人 ・7日分 11人 ・14日分 2人 ・半年分 1人

問3

問1又は問2で「5 (備蓄していない)」を選択された方にお尋ねします。

あなたが飲料水や食糧を備蓄 (買い置き) していないのはなぜですか。

(1つだけ)

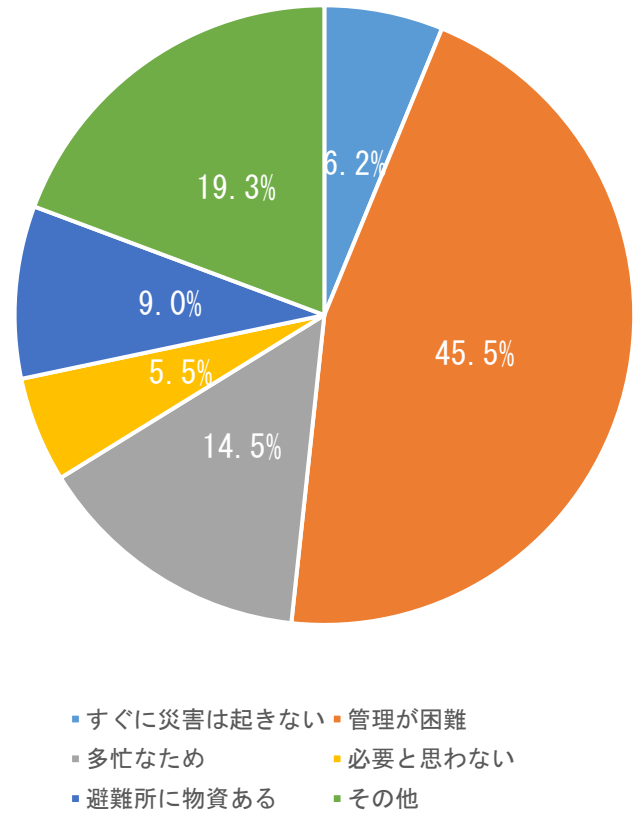
- 1 災害がすぐには起きないと思うから
- 2 消費期限等の管理が難しく、面倒だから
- 3 忙しく時間がないから
- 4 必要ないと思っているから
- 5 避難所に避難すれば必要な物資を供給してくれると思っているから
- 6 その他 (具体的に)

回答

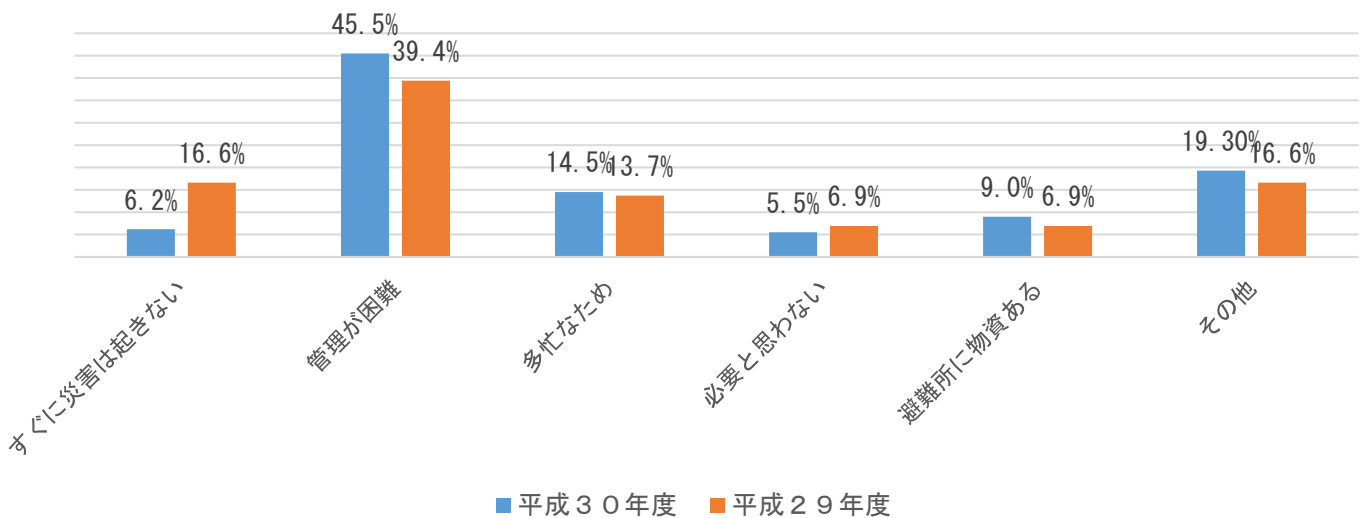
全体(n=145)

	平成30年度 合計	【参考】 平成29年度	対前年度 増減
回答者数	145	175	-30
件数計	145	175	-30
(%計)	100.0%	100.0%	0
1 すぐに災害は起きない	9 6.2%	29 16.6%	-20 -10.2%
2 管理が困難	66 45.5%	69 39.4%	-3 6.1%
3 多忙のため	21 14.5%	24 13.7%	-3 0.8%
4 必要と思わない	8 5.5%	12 6.9%	-4 -1.4%
5 避難所で物資供給がある	13 9.0%	12 6.9%	1 2.1%
6 その他	28 19.3%	29 16.6%	-1 2.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0

平成30年度合計
(買い置きをしない理由)



対前年度比較



問3

その他（具体的に）

回答（抜粋）

- ・ 普段の生活用水は、地下水をくみ上げているので、ポンプを動かす電気があればよく、自家発電機を購入している。
- ・ 今買いためのお金がない。したら生活ができないから
- ・ 日常冷凍庫などに日々のやりくりの中から、2~3日くらいの在庫はなんなり入っています。いざ、大災害の時はと思案することもしばしばありますが、現実化してないのが現状です。
- ・ 災害セット？みたいなものを購入して備えようとは考えているが、なかなか買えていないため。今後購入する予定。
- ・ コンビニやスーパーに行ってみてあれば購入。なければ、水道がきておらず、井戸水のため、発電機があれば水をくめるから。食料品に関して適切な選択肢がなかったので、1-2個あるカップ麺、おかしを元に1日と回答しました。農家なのでお米は1年分ありますし、炭もありますから家が崩壊しない限り何とかなるため。
- ・ 狭小住宅で用意する余裕がない。子供のは確保しているが自分たちの分まで余裕がない。
- ・ 以前は買い置きをしていた、賞味期限が切れたので買いにいかねばいけませんが、現在忙しく買いにいけない。
- ・ 備蓄は必要だが、現在一人暮らしのため生活に余裕がなく、その都度必要な分の買い物にとどめています。台風の前などには備蓄しますが、突発的な災害には対応できていない状況です。
- ・ した方がいいとは思っているけど、家庭に食材がたくさんあるのでいざとなればその食材を詰めて避難しようと思っている。日頃使うのにわざわざ別の袋に分けて確保しておく必要性を今のところ感じていない。なので飲料水だけしか準備していない。
- ・ 311 後数年間は飲料水の買い置きをしていたが、そのうち危機感が薄れて買い足しをしなくなってしまった。私は車を持っておらず、飲料水を買物するのが重くて、食料の備蓄よりも大変なところがネックになっている。
- ・ やらないといけないと思うが、面倒で手をつけていない。
- ・ 今回の豪雨のニュースなどを見て、備蓄の用意や、避難リュックなどの準備をしようと思っはいるのですが、ついあと回しになっている。お金も、正直なところ負担が大きい。
- ・ 一時的に備蓄も・・・と思い買っていたものをローテーションと思って日常に使っているうちに、備蓄とは言えない量に減ってしまっているから。
- ・ ペットボトルの水を買っていたが、使ってしまった買い足していない。買ったもすぐ使ってしまう。
- ・ 大学生で一人暮らしなので、わざわざ用意する必要がないと思っていたから。
- ・ 普段の生活のことで精一杯なので、備蓄に費やす時間と経済的余裕がない。
- ・ いずれしなくてはならないと思いながら、ずるずると今日まできている。
- ・ どうしたものかわからず、少し手を出してもあまりに難しくて断念してしまうことを繰り返している。
- ・ 最近の災害の状況を見て、近いうちに準備しようと思っている。
- ・ 特に深く考えたことがなかったから。
- ・ いつどこで被災するかわからないし、家が無事かもわからない
- ・ 家族全員で2リットルくらいしかない。井戸、上水道があるので大丈夫と考えていた。備蓄量を増やそうと思う。

問4 災害時に役立つ生活物資として、どのようなものを保有していますか。
該当するものをすべて選んでください。

- 1 救急セット
- 2 簡易トイレ
- 3 卓上コンロ・ガスボンベ
- 4 懐中電灯
- 5 携帯ラジオ
- 6 乾電池（買い置き分）
- 7 寝袋
- 8 その他（具体的にいくつでも。）
- 9 特に保有していない。

回答

全体(n=374)

	平成30年度 合計	【参考】 平成29年度	対前年度 増減
回答者数	374	336	28
件数計	1,254	1,243	11
(%計)	335.2%	369.9%	-34.7%
救急セット	180 48.1%	182 54.2%	-2 -6.1%
簡易トイレ	63 16.8%	62 18.5%	1 -1.7%
卓上コンロ	162 43.3%	153 45.5%	9 2.2%
懐中電灯	301 80.5%	284 84.5%	17 -4.0%
携帯ラジオ	171 45.7%	183 54.5%	-12 -8.8%
乾電池	234 62.5%	224 66.7%	10 4.2%
寝袋	74 19.8%	97 28.9%	-23 -9.1%
その他	38 10.2%	40 11.9%	-2 -1.7%
保有なし	31 8.3%	18 5.4%	13 2.9%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

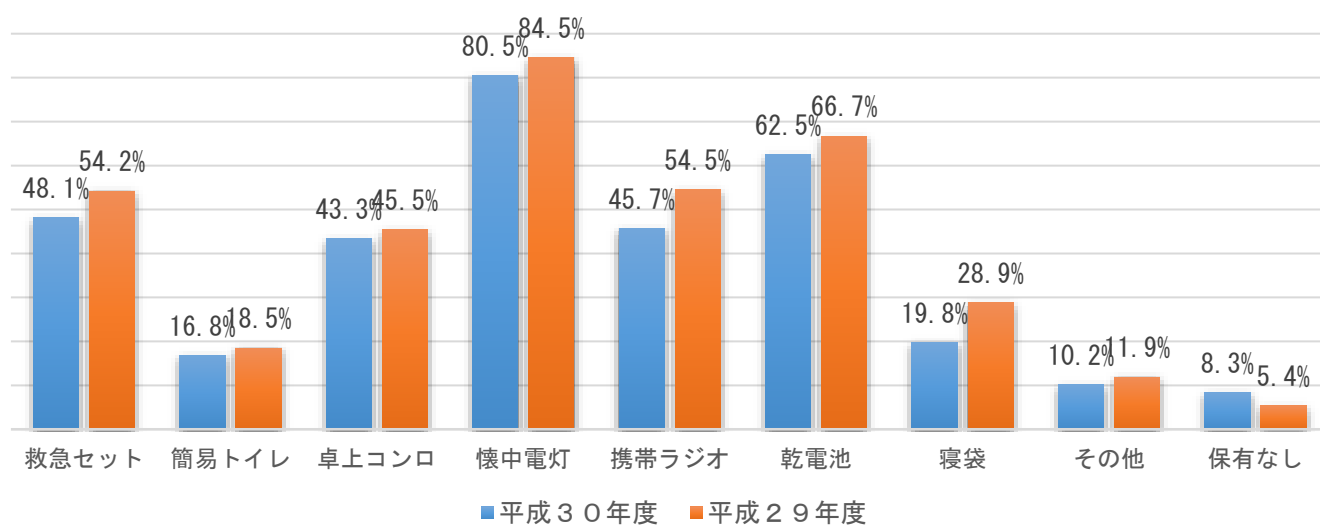
問4-2

その他で備蓄しているもの

回答（抜粋）

- ・使い捨てカイロ
- ・紙おむつ
- ・タオル
- ・ポリタンク
- ・調味料
- ・ペットフード
- ・トイレットペーパー
- ・サランラップ
- ・登山用品（テント・折り畳み椅子）
- ・割りばし
- ・マスク
- ・万能ナイフ
- ・バッテリー
- ・軍手
- ・雨具
- ・常備薬
- ・携帯スリッパ
- ・アルコールシート
- ・ろうそく
- ・ホイッスル
- ・七輪
- ・燃料

対前年度比較



問5

あなたは、すぐに持ち出せるよう非常用持出袋を準備していますか。

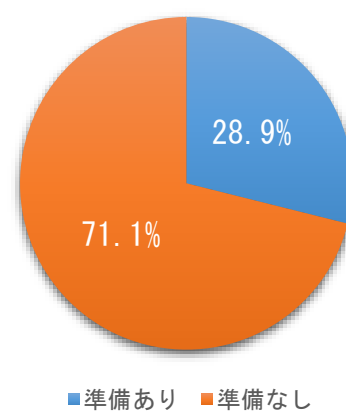
- 1 準備している
- 2 準備していない

回答

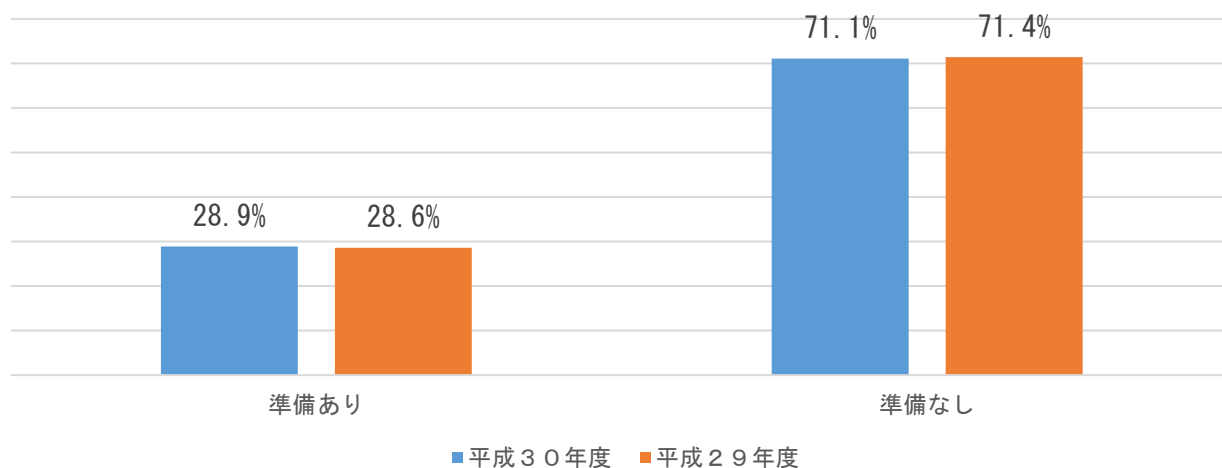
全体 (n=374)

	平成30年度 合計	【参考】 平成29年度	対前年度 増減
回答者数	374	336	38
件数計 (%計)	374 100.0%	336 100.0%	38 0
準備あり	108 28.9%	96 28.6%	12 0.3%
準備なし	266 71.1%	240 71.4%	26 -0.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

平成30年度合計
(非常用持出袋の準備)



対前年度比較



問6

災害時の備蓄について、これまでの設問以外に意見がありますか。

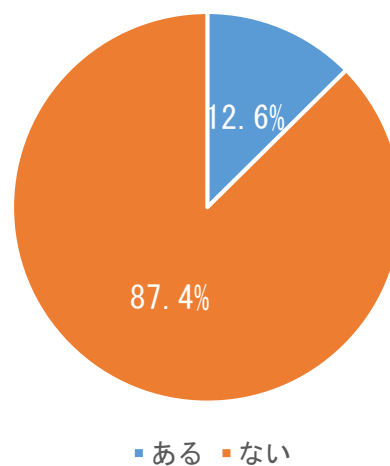
- 1 ある（問6-2に具体的に）
- 2 特にない

回答

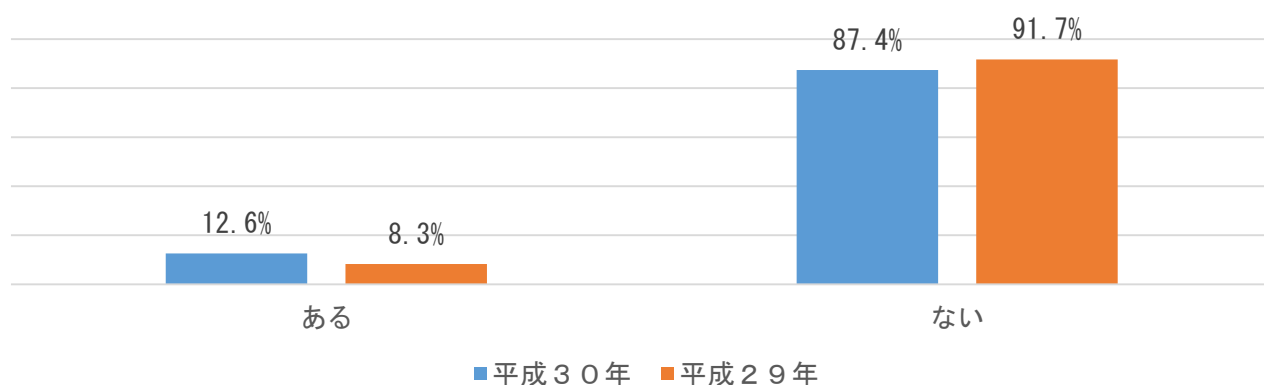
全体（n=374）

	平成30年度 合計	平成29年度 合計
回答者数	374	336
件数計	374	336
(%計)	100.0%	100.0%
1 ある	47 12.6%	28 8.3%
2 ない	327 87.4%	308 91.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%

平成30年度合計



対前年度比較



問6-2 具体的な意見

回答

- ・これからは、自治会単位でも必要物資を、格納備蓄する必要を感じている。リヤカー、担架、車いす、テントなど。
- ・市民センターなどに備蓄したのも、賞味期限が切れそうなものは子ども食堂に順次回すなど、うまく循環させていく必要がある。
- ・北九州豪雨や西日本災害を通して、非常用袋(リックサック)は必要だと感じました。ぜひその必要性を訴えて行くべきだと思います。
- ・集合住宅に住み、防火管理者をしています、マンションでの備蓄も推進してはと思っています。ただ、いろいろな住民がいるので、物資の取り合いが心配ですが。
- ・全国で自然災害がある度に避難袋の必要性が提唱されています。しかし身の回りにあまりに持っていない、他人事だと思っている人が多すぎます。私も周りの方に必要性、安心できることを話しますがなかなか分かってもらえません。子供の時から教育の中で、指導していかないと理解してもらえないのかな、ともどかしさを感じています。
- ・県でも広報等を進めているようで結構なことだが、どうしても基礎的な事項に限られている。だが災害の種類によって準備の種類も自ずと異なってこようから、各地域で発生する可能性の高い災害とリンクさせて備蓄内容を説明するなど、きめ細かい取組があるとさらに望ましい。また最近の猛暑のように今後新たな災害として懸念される現象も生起しつつある。こういった将来的な災害問題についても情報提供・周知が欲しいところだ。
- ・備蓄はとても大切なことである。しかし、昨今救援物資に不要なものが多く、破棄せざるを得ないケースが相次いでいる。そうであれば、被災県や被災市は、上記の非常用持出品にある飲料水、食料、乾電池、救急セット以外は受け付けないようにしたらどうかと思う。それ以外は寄付でお願いし、Pull型の支援とすれば効率的ではないかと思う。
- ・災害アプリの活用と猛暑時の日中の仕事について。福岡市の災害アプリは今回の水害で活用されなかったようです。いざという時に使えなければ、市や県も災害は起きないとおもっているのではとってしまう。今年のような猛暑も一つの災害と言われていますが、工事業者も日中の作業は悲鳴を上げています。日中の活動について制限を設けてはどうか。